

第23期 決算公告

平成26年2月20日
 福岡市東区箱崎七丁目9番66号
 コカ・コーラウエストサービス株式会社
 代表取締役社長 梅崎 正浩

貸借対照表

(平成25年12月31日現在)

(単位 千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	109,963	流動負債	330,008
現金及び預金	29,677	1年内返済予定の長期借入金	200,000
有価証券	15,000	未払金	21,112
売掛金	7,429	未払費用	3,940
貯蔵品	27	未払消費税	5,304
未収入金	4,203	未払法人税等	50,941
前払費用	4,477	前受金	34,646
預け金	25,678	預り金	14,063
立替金	15,164		
繰延税金資産	8,304	固定負債	611,923
		長期借入金	20,000
固定資産	3,778,307	預り保証金	185,001
有形固定資産	3,771,803	長期未払金	69,920
建物	722,881	役員退職引当金	4,496
建物附属設備	43,613	退職給付引当金	1,896
構築物	6,007	繰延税金負債	330,609
車両運搬具	290		
工具器具備品	1,500	負債合計	941,931
土地	2,997,509		
		(純資産の部)	
無形固定資産	590	株主資本	2,946,339
ソフトウェア	590	資本金	100,000
		資本剰余金	209,857
投資その他の資産	5,913	その他の資本剰余金	209,857
長期前払費用	856	利益剰余金	2,636,482
敷金・保証金	5,000	利益準備金	25,000
その他の投資	57	特別修繕積立金	440,000
		土地圧縮積立金	598,032
		別途積立金	154,000
		繰越利益剰余金	1,419,449
		純資産合計	2,946,339
資産合計	3,888,271	負債純資産合計	3,888,271

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てております。

注 記 事 項

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 貯蔵品

最終仕入原価法

② 有価証券

時価のあるもの

当事業年度末の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法によっており、主な耐用年数は次のとおりであります。

建 物	17～47 年
建物附属設備	6～18 年
構 築 物	8～20 年
車 両 運 搬 具	4～ 6 年
工具器具備品	3～20 年

② 無形固定資産

定額法によっております。なおソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込み額を計上しております。

② 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込み額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

③ 役員退職引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労規定に基づく期末要支給額を計上しております。

(4) 収益の計上基準

保険手数料収入

保険手数料収入は入金基準で計上しております。

(5) 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

2. 会計方針の変更に関する注記

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、平成25年1月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）以外の有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、当事業年度において、該当有形固定資産の取得がなかったため、営業利益、経常利益および税引前当期純利益への影響はありません。

3. 当期純損益金額

当期純利益 202,379千円

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てております。

以 上